

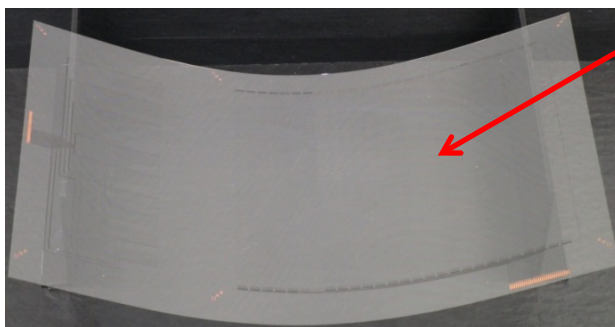
2016年8月24日  
日本電気硝子株式会社

## 世界初・超薄板ガラスを用いた黒色銅メッシュタッチセンサーシートの開発

日本電気硝子株式会社（本社：滋賀県大津市 社長：松本元春）は、かねてより進めていた超薄板ガラス（製品名：G-Leaf®）に微細な黒色銅配線のパターンを形成した静電容量型タッチパネル用センサーシートの開発に目途がついたことから、本日から開催される Touch Taiwan 2016（台湾タッチパネル&光学フィルム展、会場：Taipei World Trade Center Nangang Exhibition Hall）に参考出展します。薄型で曲面への対応も可能なガラス基板と銅配線の組み合わせは、世界初となります。

当該タッチセンサーシートの特長は以下の通りです。

- ① 優れた視認性
- ② 優れた電気特性による操作性の向上
- ③ 大型タッチパネルへの対応
- ④ 高耐久性（耐熱、耐候、長寿命）
- ⑤ 曲面への対応



静電容量型タッチパネル用センサーシート



黒色銅メッシュ拡大写真

特殊めっき技術による黒色処理  
(当社開発、特許出願中)



銅メッシュタッチセンサーシート断面構造

日本電気硝子株式会社 〒520-8639 滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号

《リリース内容に関するお問い合わせ》

総務部 広報担当

電話：077-537-1702（ダイヤルイン）

《製品に関するお問い合わせ》

事業戦略部

電話：077-537-1796（ダイヤルイン）